

玉野市立日比小学校

児童数 142名 ・ 学級数 8学級 ・ 教職員数20名（平成26年5月1日現在）

○取組実践のキーワード

学習意欲の向上、基礎的な知識・技能の習得、地域ボランティアの活用

○標題（研究主題）

わかる喜び、できる楽しさ、学び合うつながりを大切にした授業づくり

○取組を始めた経緯

学力向上のためには「学習意欲の向上」「基礎学力の向上」が必要と考え、この二つのキーワードを中心に「学び合い」を大切にした授業づくりからアプローチしようと考えた。

○取組の実施体制

研究推進委員会を中心に、低学年・中学年・高学年・環境の4部に分かれ実践する。

○学力向上に向けた具体的な取組

- ・チャレンジ算数タイム
各学年毎週1回、放課後又は朝の時間を利用して、「たしかめテスト」「トライシート」「計算カード」「九九」に取り組んでいる。採点の補助として、地域ボランティアに協力をお願いしている。
- ・各学年、国語・算数・理科・社会の単元終了時に、「学習到達度確認テスト」を活用している。
- ・朝の学習時間に、「たまのっ子算数プリント」「おかやまっ子算数プリント」を活用している。
- ・全国学力テストや岡山県のたしかめテストの結果を全教職員で分析することで課題を明らかにし、過去問題を指導や家庭学習で活用している。
- ・研究テーマに沿って、担任全員が研究授業を行って、指導力の向上を図っている。

○現在までの取組の成果と課題

1 成果

- ・チャレンジ算数タイムなどに、地域のボランティアに入ってもらったことで、学習意欲が向上した。
- ・「たしかめテスト」「トライシート」を活用して児童のつまづきが明確にし、指導に生かした。

2 課題

- ・「たしかめテスト」「トライシート」の学習進度に差があり、個に応じた課題の準備が必要である。

○取組の継続・発展の要因

- ・学習支援ボランティアが充実しているため、各学年毎週1回のチャレンジ算数タイムを実施することができている。

○管理職・中核教員等のアクション

- ・管理職は、チャレンジ算数タイムがスムーズに運営できるようにボランティアとの連絡調整を密に行うようにしている。

○その他の資料・写真等



【学習支援ボランティアとのチャレンジ算数タイム】